

交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科 *

国際学部・国際学科

留学先国名 *

ドイツ

留学先都市 *

ラーベンスブルグ

留学先大学 *

バーデン・ヴュルテンベルク連携州立大学ラーベンスブルク

留学先所属学部

経営学部

留学期間（〇年〇月～〇年〇月） *

2023年9月～2024年3月

学年（出発時）

3年

帰国報告書提出日

YYYY MM DD

2024 / 04 / 06

1. 留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

- ・半年間の座学と半年間のインターンシップが年間カリキュラムに組み込まれている
(但し留学生は選択制)
- ・金融、IT専攻の学生が多い
- ・全体の学生数が多い
- ・米国やアフリカからの教授によるセメスター限定の授業がある
- ・校舎の設備は清潔だが少し古くエレベーターが棟によっては無いこともある

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

良かった点

- ・A1レベルのドイツ語の授業が週に2回開講されている(履修は必須ではない)

不満が残った点

- ・寮や保険会社からのメールが全てドイツ語だったにも関わらず全て個人で解決する必要があった

勉強面でのサポート

良かった点

- ・成績の開示を依頼すると表にまとめた成績表を貰える
- ・履修科目の変更に柔軟に対応してくれる

不満が残った点

- ・こちらから依頼しないと成績が開示されない
- ・授業によっては2ヶ月経っても成績が開示されない
- ・履修登録がシステム化されておらずgoogleスプレッドシートを用いるため面倒である
- ・授業が毎週固定されておらずさらに日時が急に変更になることもある
- ・Moodleというサイトで授業資料の共有を行うが、サイトが使いにくい

精神面でのサポート

良かった点

- ・困ってることはないかというメールが一度届いた
- ・おすすめの病院を紹介してもらえるところに安心感があった

精神面でのサポートを必要としなかったため気になった点には特に言及しない。

生活・住居面でのサポート

良かった点

- ・大学提携の手頃な寮（社名：Seezeit）があったため住居探しをする必要がなかった
- ・鍵をなくした際に柔軟な対応があった
- ・バス停と大型スーパーが寮から徒歩10分の所にあり便利な立地だった
- ・留学生窓口を訪問すると住民登録などの説明を何度も受けられた

不満が残った点

- ・寮関連のコンテンツはメールだけでなく契約書まで全てドイツ語である
- ・退去時のチェックが厳しい
- ・寮の事務所の解放時間が短いためアポイントがとりにくい

2.生活環境等について

（1）住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

入居時の部屋の状態

- ・机、ベッド、本棚（3段）、クローゼット、卓状ライト、中間照明、WiFi 付き
- ・鏡が破損（自分で買い替えたが退去時には何も言われなかった）
- ・クモの巣が天井や床に散見された（掃除が必要）

アドバイス

- ・退去時は全てを元通りにしないといけないためモノを増やしすぎない方がよい
- ・タオルの支給はないため1, 2枚持って行くとよい（現地のスーパーは一枚1000円以上した）
- ・デポジットを家賃の3カ月分（12万ほど）取られるため金銭は余裕を持って準備した方がよい

(2) パソコンについて
PC の保有状況

- ☒ 日本から持参した
- ☐ 現地で購入した
- ☐ 保有しなかった

Wi-Fi の有無

- ☒ 有
- ☐ 無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

家賃に含まれていた。ルーターは設置済み。

しかしWiFiが繋がらない部屋もあったためその場合は近隣の学生のWiFiを借りるとよい。雨が降ると回線が悪くなる傾向にあった。

大学でのPCの使用可否

- ☒ 使用できた
- ☐ 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

大学に設置されているPCは使わなかったが要望には柔軟に対応してもらえるので頼めば可能だと思う。学内のフリーWiFiは回線が良く使いやすかった。しかし範囲が狭いのか大学を出ると塀のそばでもなかなか繋がらなかったため大学が閉まる8時以降は接続が難しい。

(3) 医療について

Health Center（大学内施設として）の有無

☐ 有

☒ 無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

受診歴はない。

冬は冷え込むため厚着をするとよい。

ドイツの水道水は飲んでも問題ないが近隣の国もそうとは限らない。

(4) 銀行口座について

留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

開設しなかった。

りそなのVISAデビットカードを使っていたのでキャッシングもカード払いも特に問題はなかった。

不便を感じたのは後半3カ月の寮の家賃を払う際に日本口座からの振り込みになったので手数料が多くかかったことくらい。

(5) 異文化体験について

留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

習慣の違いに関しては手を挙げる際に人差し指をたてる、歩道に自転車用のレーンがある、など細かな面倒さは感じたがすぐ適応できるレベルのものである。

ただ、日曜日は基本的にどこも開いていないのと市役所などの公的機関の営業日が週4日な上に特定の曜日が午前営業のみ、のような制約があったことには滞在中ずっと不便を感じていた。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

ローマとフランクフルトで模擬国連に参加した。

国際情勢に関する知識が増えるほか、交流会や高度な英語の議論を通じて就職活動でも話せるような貴重な体験ができたため後輩にもお勧めしたい。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

治安はいいが中性的な服を勧める。スカートを履いていた友人は性被害にあいかけたらしい。バスの中で老人男性にコロナ、と言われたことが一度あったが、その場合は相手の目を見て咳でもしてやればよい。そのような人は大抵脳に障害をきたしており本質は小心者にすぎないため気にする必要はない。堂々としていればよい。

3.後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

Xでドイツ在住の日本人を沢山フォローしてリアルタイムな情報を収集していた。不安であれば留学アカウントみたいなものを開設してその人たちとの交流を図るのもよい。

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

基本的に身分証、金銭、スマホがあれば他は現地で手に入る。クレジットカードは予備を用意した方がよいとはよく言われているがドイツは治安がよいので、したければすればよい。

以下に私が持参してよかったものを記載する。

- ・一人用の軽量鍋とお椀（自分の物をきめておくとトラブルを避けられる）
- ・フェイスタオル（最初の数日間役にたつ）
- ・コンソメキューブ、だしの素、味噌（これらがあれば何でも和風にアレンジできる）
- ・就活の本や参考資料（これらだけはどうしても現地で入手できない）
- ・就活用のスーツと白シャツ

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

以下を得た。

- ・国際経営学に関する幅広い知見
- ・海外の友人
- ・海外模擬国連という貴重な経験
- ・海外渡航に対する抵抗の払拭

語学力：

留学前－資格試験名称および点数（級）

TOEIC945、IELTS6.5

留学後－資格試験名称および点数（級）

未受験

（4）留学において最大のトラブルは何でしたか。

隣の部屋の韓国人と関係が悪かった。原因は大雑把な私と神経質な韓国人の掃除に対する価値観が合わなかったことである。互いに妥協点を話し合うことで中和したが最後まで仲は悪かった。特にそれ以外トラブルはなかった。

（5）授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

授業に関して：

クラスの人数は授業によるが、4人～25人で少人数の双方向授業が多い。

積極的な学生が多く、金融専攻の学生は特に勤勉である。

欠席の連絡は厳しい授業とそうでない授業がある。授業の50%を逃したら基本的には単位は与えられないが授業によっては欠席2回まで、などの制約がある。

早い授業は8:00からあり、遅い授業は終了時間が20:30になることもある。

1コマの時間は決まっておらず、4時間のものもある。休憩は随時取らせてもらえる。

成績評価に関して：

成績評価はとにかく遅い。試験成績の開示は行われず、最終評定の開示は留学生窓口に依頼して初めて送られてくる。試験によって評価される授業とレポートによるものがあり、比率はやや後者の方が多い印象。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

時系列に述べる。

- ・就職活動は3年の夏から始め、秋に外資系コンサル1社の3daysインターンに参加。その直後に留学した。
- ・留学直後はしばらく就職活動を休憩していたが常にXでリアルタイムな就活情報を収集し、計画を立てたり自己分析をすすめたりしていた。
- ・冬はオンラインの説明会にできるだけ参加し、面接もいくつか経験した。弊学の商社ゼミに所属し、就活生やキャリアセンターと交流を持ち続けることでモチベーションを維持した。
- ・年末年始は比較的落ち着いており2月から少しずつギアを上げていった。
- ・3月には学期末の試験やプレゼンとESのメ切がかぶることも多く睡眠は不定期、4時間未満の日も多々あったがそういうものだとは割り切った。テストセンターで受験する必要のあったwebテストは隣国のオーストリアDornbirnに何度か受けに行った。片道1時間半、乗り換え1回で行けるのでおすすめだ。日本で焦って受ける必要はない。

現在も内定は持っていないので帰国後も就職活動中だが、3月末の帰国直前に出したESが高確率で通過したため、あまり焦りは感じていない。

ただ常に就活で頭がいっぱいだったため別れを惜しむような心的余裕はなかった。その代わり日本時間で生活していた為、帰国後の時差ボケもなかった。

4.費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

(1) 留学時のレート

1 € = 160円

(2) 航空運賃

往復約17万円

(3) 住居費

住居費（月額）

約4万円

住居費（留学期間合計）

36万円

（4）食費（月額）

3万円

（5）保険料

出国前に6万円払ったがそれ以来払っていない

（6）その他

旅行費約30万円

交通費のサブスクリプション8000円×6ヶ月

（7）留学費用の合計

120万円

5.その他 自由に記入してください。

これから留学を考えている人へ

何か疑問点があればいつでも連絡してください。フランクな性格なので気軽に話しましょう。就職活動に関しても私でよければ経験をシェアできます。

留学頑張ってください。

このフォームは 近畿大学 職員用（@itp.kindai.ac.jp） 内部で作成されました。

Google フォーム